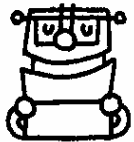


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

ベガの意味と、こと座の神話を教えて



ベガは、アラビア語で「落ちるワシ」のこと。こと座は、古代ギリシャで使われた楽器を表しているのさ。

ベガは、日本ではおりひめ星といわれている

夏の大三角形の一つであること座のベガは、日本では七夕伝説の「おりひめ星」といわれているものです（ひこ星は、アルタイルです）。ベガは、アラビア語で、つばさをたたんで降下するワシをさしています。大きさは太陽の3倍もある星で、明るさは1等星より明るい0等星です。

こと座は、古代ギリシャで使われていたリラという楽器

こと座は、古代ギリシャで使われていたリラという「たてごと」の形からきています。ギリシャ神話では、次のような話があります。

リラをひくのがうまかった妻が毒ヘビにかまれて死んでしまったオルフェスは、あの世まで行き、あの世の大王から「生きている世界に帰るまで妻の顔を見ない」という約束で妻を返してもらいました。ところが、うれしさのあまりふり返って妻の顔を見てしまったため、妻をとりもどせなくなり、リラで悲しい曲ばかりひいて暮らし、ついに川に飛びこんで死んでしまったのです。それをあわれんだ大王ゼウスが、オルフェスのリラを星にして、空に上げたのがこと座なのだそうです。

<夏の大三角形>

